

『常陸大宮市史』の記念すべき第1冊目が刊行されます！

【「常陸大宮市史編さん事業」とは？】

平成28(2016)年度から始まった「常陸大宮市史編さん事業」では、専門の研究者たちが集い、常陸大宮市域の歴史や文化・民俗はもちろん、自然環境に至るまで、広い視野と最新の研究成果を反映した『常陸大宮市史』の刊行に取り組んでいます。

「市史」や「町史」、「村史」などのいわゆる「自治体史」と呼ばれる刊行物は、私たちが暮らしている地域の古い時代から現代までの歴史や文化、自然環境などを調査し、まとめた書物です。

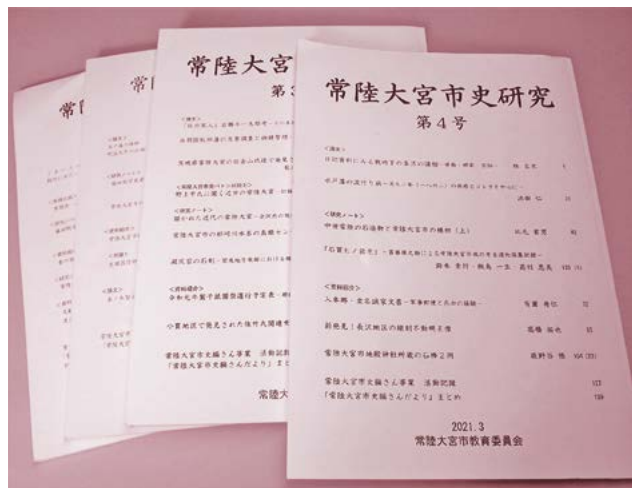
常陸大宮市が大宮町・山方町・美和村・緒川村・御前山村の5町村だった時にも、それぞれに自治体史が作られていました。しかし、その多くは昭和50年代に刊行されたものであり、一番新しい『美和村史』の刊行からも30年近くが経過しています。『常陸大宮市史』では、それらの成果を引き継ぎつつ、市や県を越えた幅広い調査によって近年発見された資料や研究の成果を反映させながら、新しい常陸大宮市の姿を記録していきます。

【『常陸大宮市史研究』とは？】

調査・研究を進めていくなかで得られた成果や、新たに発見された資料などをいち早く皆さまにお知らせするために、平成29年度から『常陸大宮市史研究』を刊行しています。第1号は完売のため、常陸大宮市のホームページから無料でご覧いただけます。今年度は第5号が刊行予定です。掲載内容や目次については、ホームページをご参照ください。



◀市ホームページはこちら



【ついに『常陸大宮市史』の第1冊目が登場します！】

第1冊目は、『常陸大宮市史 別編2 自然』。常陸大宮市域の動物や植物、地形・地質について、平成29年から令和2年の4年間にわたって調査した成果がまとめられています。自然編は「地質」(118頁)と「動植物」(592頁)の2分冊で構成されており、「地質」では常陸大宮市の地形や地質、化石、大地の変遷、岩石、そして鉱物についてまとめられています。「動植物」では、常陸大宮市の植物や哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、淡水魚類、昆虫についての調査結果が記されています。



※画像は作成中のものです。実際とは異なる場合があります。

『常陸大宮市史』刊行予定	
1	別編2 自然
2	資料編2 古代・中世
3	資料編3 近世
4	資料編1 考古
5	資料編4 近世
6	別編1 民族
7	通史編1
8	資料編5 近現代
9	資料編6 近現代
10	通史編2

この自然編の販売は、4月以降を予定しております。常陸大宮市域の豊かな自然環境を知る、重要で興味深い本になっています。是非続報を楽しみにお待ちください！

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ

☎52-1111(内線344)